

2021年度年間テーマ: 「光の子として歩もう!~イエスさま 来てください~」

テーマ曲: ワワウいっしょに (CS讃美歌92番)

暗唱聖句: 「私たちの助けは 天地を造られた主の御名にある。」

詩編 124章8節

動画ファイルへのリンク :

<https://drive.google.com/file/d/16tARKMDx6VH2vgtL-bExcpcfg6SII3TA/view?usp=sharing>

賛美: 「うみとそらつくられた主は」 (KFC 子供さんびか 62 番: 下を参照)

おいのり (今日も生かされていることを感謝し、主の守りと導きを祈ろう。)

おはなし「HC#69~74 洗礼について、その2: 大事な追加」スパーリンク宣教師

みなさん、こんにちは! CS の中高生科によるこそおいでくださいました。以前もそうだったように、今日もハイデルベルク信仰問答書を学び続けます。前回は問 69~74 番を見て、洗礼について学びましたが、今日は洗礼をめぐって、もう少し考えたいと思います。洗礼についての問答が多いのですが、今回は問 69 と 70 だけ読みましょう。そして続けて、幾つかの聖書箇所を開きます。

聖なる洗礼について

問 69

あなたは聖なる洗礼において、十字架でのキリストの唯一の犠牲があなたの益になることを、どのように思い起こしまた確信させられるのですか。次のようにです。

答

キリストがこの外的な水の洗いを制定された時

約束なされたことは、

わたしがわたしの魂の汚れ、

すなわち、わたしのすべての罪を、

この方の血と霊とによって確実に洗っていただけ、

ということ。

そして、それは日頃体の汚れを落としているその水で、

わたしが外的に洗われるのと同じくらい確実である、

ということですよ。

問 70

キリストの血と霊とによって洗われるとは、どういうことですか。

答

それは、十字架での犠牲において

わたしたちのために流されたキリストの血のゆえに、

恵みによって、神から罪の赦しを得る、ということですよ。

さらに、聖霊によって新しくされ、

キリストの一部分として聖別される、

ということでもあります。

それは、わたしたちが次第次第に罪に死に、

いっそう敬虔で潔白な生涯を歩むためなのです。

「救いは信仰のみによるのだ」。救われるために必要な このような信仰は一体どこからくるのですか。問 65 の答えは、「聖霊が福音の説教と聖礼典を通してこれを心に起こして確かにする」とあります。洗礼は 信じてより頼む私たちの罪を赦し、永遠の命を約束しておられることのしるしです。「ここに救いがあるよ」と、耳で聞くだけではなく、目で見て確認する、というわけです。これを前回確認しました。問 69-70 では、洗礼において神様は「救いがイエス様にあるよ」と言い、また、私も救われた主の民であることを示し、確信させてくださるのです。「水の洗い」がその中身だと言います。つまり、体を水で洗うと同様に、また確実に、私の魂を主イエス様と御霊が洗ってくださり、神様の裁きを招く罪の汚れを洗い落としてくださる。

問答書は洗礼の水について語ります。外的な水の洗いによって体をきれいにすると同じように、確実に、信じて洗礼を受ける私の心がきれいになり、罪の裁きを受ける私のすべての背きと不従順がまるでなかったかのように、清くされます。でも、この礼典・儀式の水の洗いについて、さらに確認したいことがあります。深い奥義がここにあるからです。使徒パウロは、私たちが洗礼を受けるときに、キリストと共に死に、葬られると言います。罪の体が死んでしまいますから、もう、裁きを受けるものがなくなります。そして、新しい命を持つ キリストに結ばれる体で蘇る、と言います。このことについて是非、ローマの信徒への手紙の 6 章 1-11 節を読んでみてください。一部だけここで読みましょう。ロ 6:3-4 だけここで読みましょう。「それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。」

洗礼式のやり方が複数あります。水槽や川などに入って、体を水の中に浸すいわゆる浸礼があり、また、水を少しだけ頭に注ぐあるいは水滴を振り掛けるいわゆる滴礼があります。ある教会では、キリストと共に死ぬと使徒パウロが言うから浸礼の方がわりとこれを示すので、浸礼にこだわります。私たち改革派教会のほとんどの場合は、旧約聖書のものを清める儀式として、捧げ物の血を あるいは清い水を振り掛けることを前例にして、滴礼の方が聖書の教えに叶うと主張します。実はどちらでも大丈夫です。大事なものは、三位一体の神様の名を呼んで、ものを清くする象徴としての水があることです。そこで、洗礼式の水についてさらに大切な聖書の教えを確認しましょう。

調べてみれば、使徒パウロは、イスラエル人がエジプトを出て、紅海を無事に渡ったときに、彼らが「モーセにつき洗礼を受けた」と説明します。I コリント 10 章 3 節：「皆、雲の中、海の中で、モーセに属するものとなる洗礼を授けられた。」しかし、彼らを追っていたエジプト軍が、紅海の水が元に戻ったときに、皆溺れて死んでしまいました。紅海はイスラエル人にとって約束の地への道に進む障害物でした。その水は神様の裁きを意味します。彼らはモーセにつき、その裁きを無事に通過することができました。けれども、神様に背くエジプト軍が死刑に定まりました。このことは私たちが受ける洗礼式に意味がとても似ています。洗礼を受けるときに、罪に対する神様の裁きに直面します。でも、イエス様につきこの水を通るから、無事に命の民として立ち上がってきます。でも、注意してく

ださい。イスラエル人に通らなければならぬ水がありましたが、少しも濡れはしませんでした！浸礼でも滴礼でも、どちらでもありません。水があっただけ。

もう一つの大切な箇所はペテロの第一の手紙にあります。(3:20-21)「箱舟に乗り込んだ数人、すなわち八人だけが水の中を通過して救われました。この水で前もって表された洗礼は、今やイエス・キリストの復活によってあなたがたをも救うのです。洗礼は、肉の汚れを取り除くことではなくて、神に正しい良心を願って求めることです。」ここで、ペテロは、ノアの時代の大洪水の時に、箱舟の中で裁きを無事に通過することができたことが、私たちの受ける洗礼を示しているといっています。ここにも水(大洪水の水)が神様の 罪の汚れと悪を滅ぼすものであることに気がつくでしょう。でも、神様の恵みのおかげで箱舟がありましたので、ノアたちがその裁きを無事に通過しました。ところが、ノアとその家族はこの場合も少しも水に濡れません！これらの旧約聖書の教えによって、水がただ単に体の汚れを洗い落とすだけではないことがお分かりでしょう。裁きの水です。一度この裁きを通るならば、もう、裁かれることはありません。約束の地にどんどん進み、虹の印を見上げて、命が神様に約束されていることを喜ぶばかりです。ですから、浸水しての式にするのか、水滴を振り掛ける式かが問題ではありません。私たちが昔のイスラエル人のように、命の地への障害物が取り除かれ、悪しき世を滅ぼす大洪水がもう終わってしまいました。イエス様が私たちに代わって裁きを全て引き受けてくださいました。私たちは信仰によってイエス様の民となり、イエス様に結ばれていますから、裁かれる恐れがありません。洗礼の水はこの真実を見事に語っているのです。

三位一体の父、子、聖霊なる神様のお名前が私たちに書き記されて、私たちは神様の愛する民であることが示されます。たとえ、ことがまだ理解できない幼児であっても、この事実は同じです。神様ご自身が主役で、一方的恵みを示してください。何という感謝すべきことでしょうか！

短かくお祈りしましょう。「父、子、聖霊なるお一人の生ける全能の神様、今日は、洗礼について、旧約聖書にある背景を学びました。主の約束と守りを信じて大洪水に耐え、紅海を渡ることができました昔の主の民のように、私たちが全ての汚れと悪を取り除く救いの印として、洗礼式が与えられていることを感謝いたします。自分も洗礼を受けたから、イエス様と共に死に、イエス様と共に新しく生かされる 神様の愛する民であることをいつも思い起こさせてください。イエス様のみ名によってお祈り致します。アーメン」

(けんきん) 今日神様に捧げる献金をとっておいて、教会で再びお会いするときにはささげましょう。こひつじ科の献金箱が設置されましたので、用いましょう。

賛美： 讚美歌 280 番 1,2,4 (SS # 39) 「我が身の望みは」 (下を参照)

*1、2、3、せつをうたい、さいごにコーラスをうたおう。

お祈り (今日の CS の学びと、神様が私たちに一切の裁きから救い出して下さることを感謝しましょう。)

うみとそらつくられたしゆ

Ricard M. Sherman 作詞

Robert B. Sherman 作曲

The musical score is written in G major and 4/4 time. It consists of four staves. The first staff is the vocal line with lyrics. The second staff is a piano accompaniment line. The third and fourth staves are chordal accompaniment lines. The lyrics are: うみとそらつくられた主はあなたの主わたしのかみつみをゆるすすくいぬしみんなの主イエスは主ハレルヤ イエスは主ハレルヤ イエスは主ハレルヤみんなの主

G D Am D7 G
うみとそらつくられた主はあなたの主わたしのかみつみ

G7 C Am D7 G
をゆるすすくいぬしみんなの主

D Am D7 G
イエスは主ハレルヤ イエスは主ハレルヤ

G7 C D7 G
イエスは主ハレルヤみんなの主

わが身の望みは

(讃美歌280/新聖歌363)

Lyrics E. Mote
Music W. B. Bradbury

① わが身の望みのほのぼのぞみはくたなだ主につかかみれり
② かぜの世とのほのほのぞみはくたなだ主につかかみれり
④ 見ぬ世にのほのほのぞみはくたなだ主につかかみれり

6 主イエスのはほにかにをはよるべきてかたすならし
みもこの義にははかうかりにをおるしきやたすのらめし
主この義にははかうかりにをおるしきやたすのらめし

11 わがきみイエスこそすくいのい

15 わなれすくいのいわなれアメン